



新年を迎えて

～地域との連携～



九州補給処長 兼ねて

目達原駐屯地司令

陸将補 河合 寿士



目達原駐屯地に所属する隊員及び御家族の皆様、また日頃より多大な御支援をいただいております協力団体・地域住民の皆様、明けましておめでとうございます。

近年、我が国を取り巻く安全保障環境は、中国の我が国周辺における活動の活発化、北朝鮮の度重なるミサイル発射、そして、未だに終わりの見えないロシアによるウクライナ侵攻により、これまでの国際情勢がさらに複雑化し緊迫しています。

このような一層厳しきの増す安全保障環境を踏まえ、後方支援の中核であり、かつ、北部九州における航空部隊の中核である目達原駐屯地の役割は益々重要となっており、駐屯地の各隊員は改めて自衛隊の崇高な使命を自覚しその責務を完遂するため、日夜防衛・警備等の即応態勢を堅持するとともに、任務遂行に必要な各種教育訓練等を継続しております。

また、国内においては、昨年末に青森県東部で最大震度6強の地震が、年明けに島根県東部で最大震度5強の地震が発生し、これまで以上にいつどこで発生するかもしれない自然災害に対し我々自衛官は、国民の生命・財産を守るため、万全の態勢を維持しているところであります。

さて、今年の干支は「午」です。午はもともと作物が芽吹き、命の力が最も盛んになる時期を表す文字に由来するといわれています。その後、力強く駆ける馬の姿と結びつき、前進や成長の象徴となりました。目達原駐屯地の各隊員は、力強く、目標に向かって突き進み、日々の厳しい任務にも「うま」くいくよう引き続き訓練・業務等に邁進する所存です。

本年が皆様におかれまして輝かしい年になりますよう心から祈念申し上げます。

めたばる

駐屯部隊長

新年の挨拶

西部方面後方支援隊長

1等陸佐 川田 義一



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

西部方面後方支援隊は、補給・整備・輸送機能をもつて方面直轄部隊等を支援するとともに、不発弾処理任務を通じて民生の安定に寄与し得るべく、「立志鍛錬」の心構えで方面隊の継続能力向上に邁進する所存です。

本年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

九州補給処最先任上級曹長 兼ねて
目達原駐屯地最先任上級曹長
准陸尉 藤吉 一世



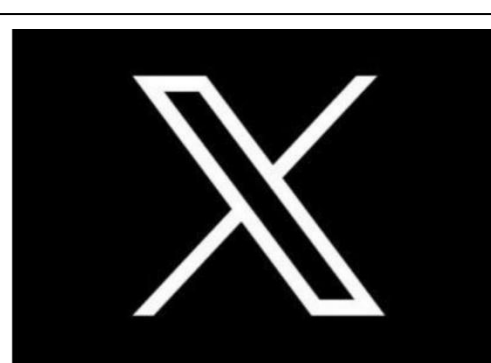
謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中、駐屯地隊員、隊員ご家族並びに地域の皆様から受け賜りましたご厚情に厚く御礼申し上げます。

本年は、今一度原点に立ち返り、最先任上級曹長として自覚ある行動に徹し、駐屯各部隊の最先任上級曹長と強く連携しながら駐屯地司令の補佐及び准曹士隊員の育成に精進してまいります。

本年が皆様にとりまして幸多く輝かしい年となりますことをご祈念申し上げます。

発行
令和8年2月
陸上自衛隊
目達原駐屯地
〒842-0032佐賀県神埼郡
吉野ヶ里町立野7-1
TEL.0952-52-2161



@JGSDF_METABARU
#目達原駐屯地

令和8年1月現在
約12,200
フォロー中！



Instagram



令和8年1月現在
フォロー
約400人！

目達原駐屯地
ホームページ



第1戦闘ヘリコプター隊長
2等陸佐 前田 哲矢



新年明けましておめでとうございます。本年も「事故を起こさない。」との強い意志で愚直に航空安全を確保し、部隊の能力を最大限に発揮できるように作戦遂行能力の向上に取り組みで参りますので、引き続きご支援、ご鞭撻賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

西部方面ヘリコプター隊長
2等陸佐 中村 健太



新年明けましておめでとうございます。いついかなる任務が与えられても航空安全を確保しつつ即動できるよう隊員一人一人が責任感と緊張感を持って隊務を運営していく所存です。引き続き、御支援・御協力のほどお願い申し上げます。

第4飛行隊長
2等陸佐 種物谷 英憲



新年明けましておめでとうございます。第4飛行隊については本年も変わらず、各種任務に即応しつつ、第4師団唯一の航空科部隊として、更なる練度の向上に邁進する所存でありますので、引き続き皆様の御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭の御挨拶とさせていただきます。

鳥栖燃料支処長
2等陸佐 高橋 有典



新年あけましておめでとうございます。西部方面隊区唯一の燃料支処として各種任務を完遂すべく取り組んで参ります。本年も変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

西部方面管制気象隊第1派遣隊長
3等陸佐 長野 康宏



新年明けましておめでとうございます。派遣隊は、引き続き航空機の安全運航を支えるため管制気象業務を継続して参ります。本年も変わらぬご理解、ご協力よろしく願い申し上げます。

第321基地通信中隊長
3等陸佐 松尾 一宏



新年明けましておめでとうございます。今年も目達原駐屯地の皆様为满足頂ける通信を提供できるように隊員一同、日夜、通信機材の維持管理を実施していきます。本年もよろしく申し上げます。

第134地区警務隊目達原派遣隊長
1等陸尉 古瀬 貴史



新年明けましておめでとうございます。本年も犯罪発生未然防止に重点を置いて、警務官の姿が見える防犯活動等を積極的に行って参りますので、変わらぬ御理解・御協力ほどよろしく申し上げます。

西部方面システム通信群本部中隊
映像写真小隊空中伝送班長
2等陸尉 鈴木 慎平



新年明けましておめでとうございます。本年も引き続き即動態勢を維持するとともに「方面総監等の目」となるべく任務を遂行し、方面隊の任務達成に貢献して参ります。本年も引き続きよろしく申し上げます。

防衛大臣感謝状受賞

佐賀県防衛協会副会長及び全国防衛協会常任理事 大隈正道氏は、令和7年10月11日（土）、市ヶ谷駐屯地において、中谷防衛大臣（当時）より感謝状を受賞されました。



集合写真



陸上幕僚長感謝状受賞

佐賀県防衛協会事務局長 山崎清二氏は、令和7年11月15日（土）、市ヶ谷駐屯地において、荒井陸上幕僚長（前西方総監）より感謝状を受賞されました。



集合写真



西部方面総監初度視察



儀仗を受ける総監

駐屯地は、令和7年12月15日（月）、第42代西部方面総監 鳥海誠司陸将による初度視察を受けました。初度視察では、儀仗隊による儀仗の後、記念撮影、幹部挨拶、状況報告、施設巡視及び部隊長等との懇談等が実施されました。本視察において、西部方面隊の後方支援と航空部隊の中核である目達原駐屯地各駐屯部隊の防衛警備・災害派遣等の任務遂行能力及び地域との連携の状況について確認していただきました。

記念撮影



状況報告



部隊長等との懇談



施設巡視



九州補給処

持続走（軽武装）競技会

九州補給処は、令和7年11月26日（水）、目達原駐屯地において、令和7年度持続走（軽武装）競技会を実施しました。



激走する隊員達

本競技会は、昭和46年から毎年実施されている九州補給処の伝統競技で、各隊員は駐屯地内の2kmコースを軽武装（鉄帽・水筒装着）の服装で5名1チームで走る断走の部と体育服装で個人ごと走る個人走の部で実施しました。各隊員は、部・支処対抗の部での優勝を目標として、日々練習に励み、競技会に臨みました。本年度は、富野弾薬支処が優勝し、昨年度に引き続き3連覇を達成しました。



優勝した富野弾薬支処

西部方面後方支援隊

米海兵隊との共同兵站に関する実動訓練

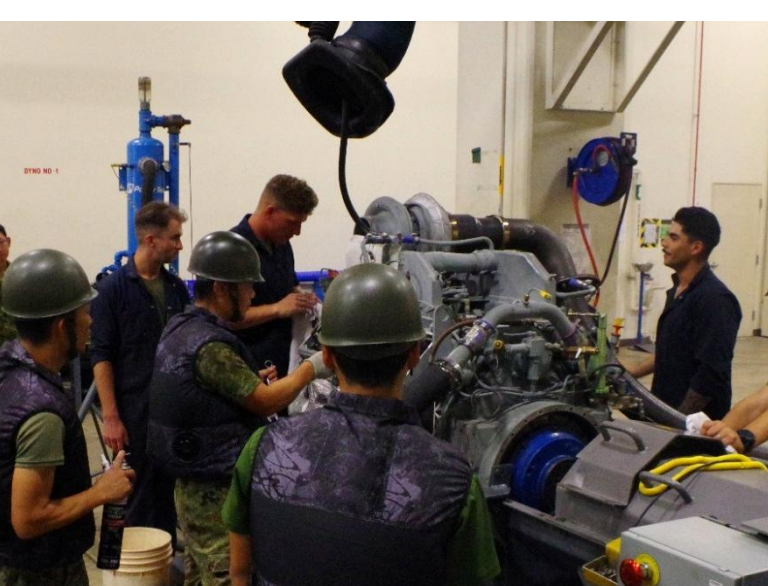
西部方面後方支援隊は、令和7年9月25日（木）までの間、令和7年度米海兵隊との実動訓練（レゾリュート・ドラゴン25）に参加し、米海兵隊との共同兵站に係る指揮幕僚活動及び実動訓練を実施しました。



日米共同空中投下訓練（梱包）



日米共同荷役訓練



共同整備



クロージングセレモニー

特に、日米共同荷役訓練においては、事前の綿密な調整の下、港湾等の生地を活用し補給品の受領から保管までの一連の流れを演練して、その成果を共有しました。また、補給品の空中投下訓練においては、相互運用性向上を狙いとし、日米の各種補給品を共同で梱包する等、日米相互の連携の強化を図りました。そのほか、日米合同の各種行事等を通じ、相互の信頼関係をより強化するものとして、令和7年度米海兵隊との実動訓練における任務を完遂しました。

西部方面システム通信群本部中隊
映像写真小隊
空中伝送班

大分県佐賀関火災に伴う映像配信！



配信映像

空中伝送班は、令和7年11月19日（水）から11月21日（金）までの間、大分県佐賀関で発生した火災に伴う被害情報収集のため、西部方面ヘリコプター隊第2飛行隊と協同で撮影任務に従事しました。映像配信の命令下達後直ちに大分県佐賀関地区上空へ推進し、被害状況を方面総監部及び関係各所に配信しました。

今後、即動態を保持し映像配信のニーズが発生した際には迅速に撮影及び配信をし、隊等の任務達成に寄与して参ります。



機内風景

西部方面ヘリコプター隊

予備自衛官招集訓練

西部方面ヘリコプター隊は、令和7年12月4日（木）から12月8日（月）までの5日間、わたり、目達原駐屯地において、予備自衛官招集訓練を実施しました。

本訓練では、精神教育、武器訓練及び体育訓練を優先課題として実施し、予備自衛官として必要な資質の涵養、知識及び技能の維持向上を図りました。

また、野外勤務やヘリコプターを使った患者後送訓練など、任務を想定した実践的訓練も実施し、訓練効果の向上を目指しました。

本訓練に参加した予備自衛官からは、「実機訓練は貴重な体験であり出頭意欲の増大につながった」「訓練内容が段階的に練度を上げられるような設定になっており感動した」との意見が寄せられました。



射撃予習



精神教育



患者後送訓練

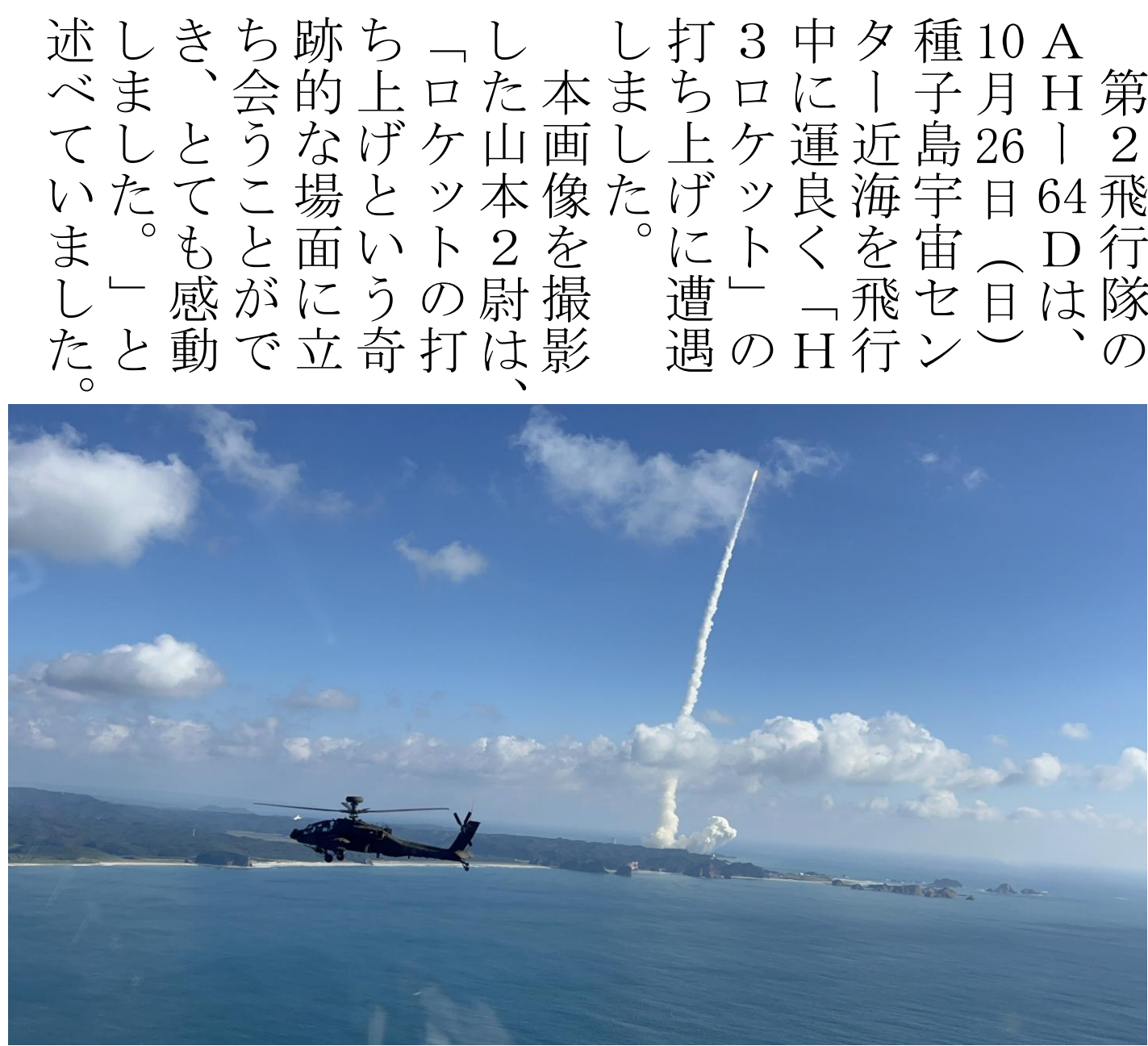


野外勤務

第1戦闘ヘリコプター隊

自衛隊統合演習

第1戦闘ヘリコプター隊は、令和7年10月19日（日）から11月1日（土）までの間、07JX（自衛隊統合演習）に参加して統合運用能力の強化・向上を図りました。



H3ロケットの打ち上げに遭遇するAH-64D

第4師団長初度視察

第4師団長初度視察



師団長出迎え



師団長との記念撮影



装備品説明



訓練視察

第4飛行隊は、令和7年10月6日（月）、第46代4師団長 前島政樹師団長による初度視察を受けました。幹部挨拶、状況報告及び施設整備品等の説明を実施し、防衛警備、災害派遣等の部隊の任務遂行能力について現状等を確認して頂きました。九州4県を担任する師団飛行隊として、師団長統率方針である「使命の完遂」のため日々訓練に邁進する所存です。

第321基地通信中隊

令和7年度方面直轄部隊訓練検閲受閲

第321基地通信中隊は、令和7年11月22日（土）から11月26日（水）までの間、令和7年度方面直轄部隊訓練検閲を受閲しました。

第321基地通信中隊の中隊本部及び通信隊は、指揮所の開設、監視カメラの設置、外壁の防護及び出動準備点検等を実施しました。統裁官要望事項を具現化すべく、中隊長要望事項「信頼にゆえ」を胸に、全隊員が積極果敢に任務を完遂することができました。



出動準備点検



GEE-3000の開設

西部方面管制気象隊
第1派遣隊

第2次派遣隊訓練実施

西部方面管制気象隊第1派遣隊は、令和7年11月27日（木）から同月28日（金）にかけて、第2次派遣隊訓練を実施しました。

本訓練では、化学兵器等に関する教育及び防護のための装備品の着脱要領について実習を行い知識と練度の向上を図るとともに、拘束・連行要領について演練し、対人での戦闘時における対処能力を向上しました。

第1派遣隊は引き続き一丸となり、あらゆる状況に対応し、任務を完遂できるよう隊員個々の能力向上に邁進します。



化学装備品の脱着訓練



敵の拘束・連行要領の訓練

目達原シッター体験保育

駐屯地は、令和7年10月4日（土）及び10月5日（日）にシッターサービス体験保育を実施しました。

目達原シッター体験保育とは、隊員の仕事と育児の両立支援策として、駐屯地内で臨時に子供を預かるサービスを令和8年度の本格運用に向けて事前に体験してもらおうもので、シッター体験保育に参加した隊員は、「事前の打ち合わせが丁寧で、子供もすぐに懐いて大変良い体験保育でした。今後このサービ스에登録し利用していきたいと思います。」と述べていました。



子供の出迎え



お世話中の様子

二十歳の記念行事



記念撮影



二十歳の隊員達



インタビューを受ける前田士長

駐屯地は、令和8年1月15日（木）、令和8年駐屯地二十歳の記念行事を実施しました。今年の二十歳隊員は11名で、多くの二十歳隊員の御家族、来賓者及び陪列者と駐屯地の隊員の参加を得て盛大に行事を挙行了しました。吉野ケ里町出身の第4飛行隊前田士長は報道のインタビューに「様々な方への感謝を忘れない隊員になりたい。日々の訓練でも有事のときの行動を考えて、常に実践的な訓練を積みたい。」と答えていました。また、各二十歳隊員達は、「過程」「挑戦」「感謝」など、一人一人が抱負を大きな声で堂々と発表しました。行事終了後は、家族と記念撮影を実施し、二十歳隊員には思い出深い一日となりました。



抱負を掲げる二十歳隊員達



家族との記念撮影

二十歳の抱負



西部方面後方支援隊第106全般支援大隊 井出 颯斗
「過程」過程を大事にしていきたいです。



西部方面後方支援隊第106全般支援大隊 今崎 大志
「成長」成長し続けられる1年にしていきたいです。



第1戦闘ヘリコプター隊本部付隊 江藤 和弥
「挑戦」自分の可能性を広げるためです。今までは失敗を恐れて行動できない事がありましたが、これからはどんな事にも積極的に挑戦し、成長していきたいと思っています。



第1戦闘ヘリコプター隊第2飛行隊 進藤 陽人
「愚直」自分は不器用なので、ひたむきに努力していきたいです。



西部方面ヘリコプター隊第1飛行隊 柿澤 敦哉
「責任」より一層部隊に貢献できるように頑張ります。



西部方面ヘリコプター隊第1飛行隊 安田 航大
「根性」自分に甘えず今日より明日、明日より明後日の自分を超えていきます。



西部方面ヘリコプター隊第1飛行隊 近藤 智哉
「前進」何事にも全力で挑戦し、日々成長し続けます。



西部方面ヘリコプター隊第2飛行隊 浦濱 希竜
「誠実」嘘偽りなく、真心を持って真面目に取り組んでいきます。



第4飛行隊 前田 一誓
「感謝」成人としての自覚を持ち、何事にも積極的に挑戦していきます。



西部方面管制気象隊第1派遣隊 福田 暖己
「柱」周囲の方々に感謝しながら日々成長していけるよう頑張ります。



第321基地通信中隊 畑江 幸祐
「覚悟」物心両面の準備を忘れず、日々精進して参ります。



モニター研修 「佐賀駐屯地研修」

駐屯地は、令和7年11月24日（月）、防衛モニター及び駐屯地モニターに対し、令和7年7月に開設した佐賀駐屯地の研修を実施しました。

本研修では、輸送航空隊の支援を受け、佐賀駐屯地の庁舎及び格納庫の見学やオスプレイの展示等を実施し、モニターに対する自衛隊への理解促進を図ることができました。



格納庫の説明



庁舎内にある
営内居室の見学

定年退官者及び予定者

▽	▽	▽	▽
21 5 3	21 12 9	2 17 13 12 9	3 2 1 24 12 8 1 12
日 日 月	日 日 月	日 日 月	日 日 月
九 九	九 九	九 西 九 九	九 戦 九 西
処 処	処 処	処 後 処 処	処 へリ 処 支
曹 3	1 1 曹	1 曹 1 准	2 曹 准
長 佐	曹 長	尉 曹 尉	尉 長 尉
森 大	西 吉 瀨	水 橋 兒 瀧	黒 緒 濫
園 浦	木 川 上	本 本 玉 口	木 方 谷
哲 真	智 雅 絵	利 富 由 久 賢	聖 雄 浩
照 査	司 里 香	孝 弘 美 仁 二 芳	一 郎
登			